平成 28 年 9 月 20 日　第 2488 号

営農NEWS

レタスの主要な病害虫の防除対策

レタスの生育中には、ハスモンヨトウ、オオタバコガなどチョウ目害虫やハモグリバエ類などによる食害を生じたり、アブラムシ類などが株に寄生して吸汁害などを発生します。これらの対策として、生育の初中期を対象に、ベリマークＳＣやジュリボフロアブルなどの育苗期後半の灌注処理、モスピラン粒剤などの定植時の株元散布などが行われており、薬剤によって処理後 2 週間～1 か月くらいの防除効果が期待できます（平成 28 年 9 月 20 日現在）。

しかし、定植前や定植時に処理した薬剤の効果が切れる頃から、害虫の産卵や幼虫ふ化が始まり、発生に気づかず防除が手遅れになってしまいますと、幼虫の食害などによる著しい商品価値の低下や減収を招いてしまいます。

病害虫発生予報 9 月号（県病害虫防除所）によりますと、9 月におけるハスモンヨトウの発生量は平年並～やや多く、オオタバコガは平年並と予想されていまので、今後とも作物を注意深く観察し、害虫の発生初期における薬剤防除を徹底してください。

一方、向こう 1 カ月の長期予報（9 月 15 日発表）によりますと、天気は数日の周期で変わり、平年に比べて曇りや雨の日が多いと予想されています。今年は 8 月後半から 9 月にかけて集中して台風の襲来があり、強風や降雨が続きました。このため、すそ枯病や腐敗病、軟腐病、斑点細菌病、菌核病、灰色かび病など各種病害の発生しやすい圃場環境が続いており、これらの発生には十分な注意が必要となっています。

病害虫が発生した場合には、下記を参考に、早めに薬剤防除を行って発生の抑制に努めてください。

なお、既にご承知のように、**レタスでは結球レタスと非結球レタス（リーフレタス、立ちちしゃ、サラダ菜など）で、農薬の登録内容（使用基準）に異なる場合がありますので、十分に注意してください**。

表１　レタス害虫の本圃における主な防除薬剤（平成 28 年 9 月 20 日現在）

薬　剤　名	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	ヨトウムシ	ナモグリバエ	アブラムシ類
アファーム乳剤	○●	○●		○●	
トルネードエースＤＦ	○●	○●	○●		
プレオフロアブル	○◎	○◎		○◎	
アクセルフロアブル	○●	○●			
コテツフロアブル	○●	○●	○●	○●	
フェニックス顆粒水和剤	○●	○●	○●		
ディアナＳＣ	○●	○●		○●（ハモグリバエ類）	
スピノエース顆粒水和剤		○●	○●		
ダントツ水溶剤				○●	○●
ウララＤＦ					○●
コルト顆粒水和剤					○●

注）表中の○はレタスで、●は非結球レタスで、◎はリーフレタスで農薬登録があります。

表２　レタス病害の主な防除薬剤（平成 28 年 9 月 20 日現在）

薬　剤　名	すそ枯病	腐敗病	軟腐病	斑点細菌病	灰色かび病	菌核病	べと病
ダコニール１０００	○◎						○◎
アフェットフロアブル	○●				○●	○●	
リゾレックス水和剤	○						
バリダシン液剤５	○●	○●	○●				
スターナ水和剤		○●	○●				
カスミンボルドー		○●		○●			
アグレプト水和剤		○					
カセット水和剤		○●	○●	○●			
キノンドーフロアブル		○●	○●	○●			
ヨネポン水和剤		○◎	○◎	○◎			○◎
スミレックス水和剤					○	○	
ファンタジスタ顆粒水和剤					○●	○●	
ランマンフロアブル							○●
レーバスフロアブル							○●

注）表中の○はレタスで、●は非結球レタスで、◎はリーフレタスで農薬登録があります。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※ＪＡ全農いばらきホームページでもご覧になれます。

全農　JA全農いばらき
生産資材部　営農企画課
電話：029-291-1012　FAX：029-291-1040